

令和5年 6月26日

保護者のみなさまへ

大宜味村立大宜味中学校
校長 宮城 研治
(公印省略)

生徒の水難事故防止の徹底について【注意喚起】

時下、保護者のみなさまにおかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、沖縄県は梅雨も明け、いよいよ本格的な水のレジャーシーズンを迎えました。本校は周辺を海や川に囲まれており、常に水難事故の危険性があり、水難事故防止には細心の注意が必要です。

つきましては、下記について、子供たちへの注意喚起をよろしくお願いします。

記

1 水難事故防止に関する基本的な考え方

- (1) 生徒が水泳や水遊びに出かけるときは、必ず保護者や大人が同行し、事前に行き先、帰宅の予定時刻、同行者などを家庭に知らせるよう習慣づける。
- (2) 生徒の発達段階に応じて、水泳や水遊びに関する事故の危険性を想定させ、自ら回避することができるよう日頃から、危険予知・危険回避力を育成する。
- (3) 学校周辺にある海・河川・港およびその他の遊泳禁止区域など、水難事故発生の恐れがある場所について、自己防止のために、学校や保護者で安全指導を行う。

2 生徒への注意事項

- (1) 絶対に一人や友達同士で海や川で泳がない。 保護者や指導できる大人と一緒に行く。
- (2) 立ち入り禁止・遊泳禁止区域では泳がない。 増水した川には近寄らない。
- (3) 睡眠不足やつかれていた時や、食後は水に入らない。
- (4) 自分の体力や水泳の技術を過信しない。
- (5) 川や海で遊ぶときにはライフジャケットを着用する。
- (6) 気象情報を確認し、急な河川の増水や雷・豪雨に注意する。また、波浪警報や波が高い状況が続いている場合は、海岸に近づかない。
- (7) 魚釣りなども子供だけでは行かない。 (大人と安全な場所で行う。)
- (8) 橋の上や堤防・岩の上などから、飛び込んだり、危険な遊びをしない。
- (9) 滝の周辺、まがりくねった河川、複雑な海岸線は、深さや水の流れが急な場合もあり、危険性が高くなるので十分注意する。また、水面はおだやかでも、水中では流れが速くなったり、水深が急に深くなる場合もあるので、十分注意する。